



1 学校教育目標

「魅力ある人づくり」

- (1) 地域を思い、未来を創造できる人を育む
- (2) 変化に対応し、新しい価値を見いだせる人を育む
- (3) 自他を尊び、多様な人々と共生できる人を育む

2 スクール・ミッション

- (1) 生徒の興味・関心、進路希望等に応じて柔軟に教育課程を編成し、個々の進路実現に向けて必要な能力や態度を身に付けた生徒の育成
- (2) 社会人としての基本的な資質を身に付け、地域の課題に対して主体的に考え、取り組むなど、自ら課題解決していく生徒の育成
- (3) 探究的な学習やキャリア教育を推進し、持続可能な未来社会の創り手となる生徒の育成

3 3つの方針（スクール・ポリシー）

○育成を目指す資質・能力に関する方針

自分を知り、学ぼうとすることができる「自己開示力」、疑問を持ち、課題を見いだすことができる「課題発見力」、先を見通して、物事を進めることができる「段取力」、要点をつかみ、多面的多角的に考えることができる「思考力」、状況に応じて、わかりやすく伝えることができる「発信力」の育成を図る。

○教育課程の編成及び実施に関する方針

- (1) 新学習指導要領に則り、育成を目指す資質・能力等を念頭に、生徒の能力・適性・目標等を十分に配慮して編成する。
- (2) 自己の在り方・生き方を考え、自ら課題発見、解決できるようキャリア教育との関連を図りながら、探究的な学習を推進する。

○入学者の受入れに関する方針

基礎的な学力を有し、進路目標や地域の課題の解決に向かって主体的・協働的に学習を深めるとともに、部活動や生徒会活動、学校行事に積極的に取り組み、探究的に物事に取り組む姿勢のある生徒を求める。

4 指導上の重点事項 未来を創造する生徒への「i + 1」

重点目標	○主語は「一人一人の生徒」 (1) 自分のよさや可能性を認識することができる生徒を育成する。 (2) あらゆる他者を価値のある存在として尊重することができる生徒を育成する。 (3) 多様な人々と協働しながら、豊かな人生を切り開いていくことができる生徒を育成する。
学習支援	(1) 不断の授業改善により、基礎的・基本的な知識及び技能を習得させる。 (2) 教科等横断的な視点から教育課程を編成し、学習の基盤となる資質・能力を育成する。 (3) 生徒のよい点や進歩の状況等を積極的に評価し、学習したことの意義や価値を実感できるようにする。
生徒支援	(1) お互いの個性や多様性を認め合い、安心して授業や学校生活が送れるような風土を醸成する。 (2) 「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進め、生徒の自己決定の場を広げる。 (3) いじめや問題行動等の未然防止に向けた取組の充実を図るとともに、情報モラルやリテラシーなど、SNS等の良好な情報発信能力を育成する。
キャリア支援	(1) 自己理解に基づき、一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を育てる。 (2) 自らの力で在り方生き方を選択していくことができるよう、キャリア・カウンセリングの機会を確保し、質の向上を図る。 (3) 講習や模試、ICT学習支援等の活用の改善・充実に努め、効果的なキャリア支援を推進する。
健康・安全指導	(1) 心身ともに健康で安全な生活を送るための自己管理能力を育成するとともに、組織的な教育相談体制の充実を図る。 (2) 事件や事故、災害等から身を守る安全な行動を身に付けさせ、危機管理意識を育成する。 (3) 日常の清掃やボランティア活動を通じて、学校や地域の美化や環境保全の意識を養う。